

Campus Map



1 体育館

広々とした体育館。体育の授業や、バレーボールをはじめとした部活動において多く使用されます。予約をすれば個人でも使用可能！

2 図書館

経済学・人文社会科学を中心に図書資料57万冊を所蔵。自習室やパソコン室などもあり、多くの学生が利用しています。



3 大教室

3号館にある大教室では約300人も収容可能！スクリーンや携帯アプリなど様々なモノを活用した楽しい授業を受けられます。



私達のキャンパスの見取図だね！

ぐるっとひと回り案内しよう！

4 クラブハウス

名市大には、スポーツ系・文化系合わせて約50の部活動、約30のサークルがあります。どの団体も精力的に活動しています。



5 食堂

週替わりで変更されるメニューは多種多様！生協のICカードを使った支払いが可能でとても便利！



6 2号館

他の学部の学生とともに教養科目を受ける場所。他学部の授業など、自分の興味を持った授業を受けられるのは総合大学ならでは！



- ① 体育館・卓球場・武道場
- ⑨ トレーニングルーム
- ② 図書館(総合情報センター山の畑分館)
- ⑩ 4号館(総合生命理学部)
- ③ 3号館(経済学部・国際交流センター・キャリア支援センター)
- ⑪ 総合情報センター
- ④ クラブハウス
- ⑫ テニスコート
- ⑤ 学生会館(食堂・生協)
- ⑬ プール
- ⑥ 2号館(教養教育・保健管理センター)
- ⑭ 文化系サークル施設
- ⑦ 体育館(総合生命理学部)
- ⑮ 1号館(人文社会学部・総合生命理学部・都市政策研究センター)
- ⑧ 5号館(総合生命理学部)
- ⑯ 弓道場

Voice

キャンパスライフ



成瀬 貴文 さん
マネジメントシステム学科2020年度卒
滝高等学校 出身

幅広い分野が学べる楽しさ

私たちのゼミでは、経済学者ドラッカーの『イノベーションと企業家精神』を学習し、その知識を企業さんと共創事業という形でアウトプットしています。ちなみに、イノベーションとは新たに革新的な物、価値を生み出すことです。

1つの活動例として私たちはガイドフランスさんと新名古屋名物のパンというお題で台湾まぜパンと言うものを開発し、大成功しました。このパンの革新的なところは、今までにないパンと台湾ミンチの組み合わせ、さらに今までにない辛いパンという点です。私たちは、この2点と「台湾まぜそば＝名古屋」のイメージが大成功に繋がったと考えています。

このように、様々な形で自分の興味のある分野を意欲的に学べる機会がゼミです。そのため多くの学生がゼミ活動を精力的に行っています。

名市大では学科にとらわれず、幅広い分野を学べるので皆さんが楽しい大学生活を送れることを願っています。



筒井 亜美 さん
公共政策学科2020年度卒
愛知県立豊田西高等学校 出身

充実した学生生活

私は名古屋市立大学に入学してから何か新しいことにチャレンジしたいと思いダンス部に入学しました。

ダンス部では日々仲間と協力し教え合ってより良いステージを作り上げることにとってもやりがいを感じています。私の所属しているダンス部は100人を超える部員を抱える大規模な部活なので、学部を超えてたくさんの友達ができ、毎日の学校生活がより楽しいものになりました。

また、ダンス部の他にバレーボールサークルにも所属しており、名市大で6月に行われる球技大会や、他大学のサークルと競い合う公式戦に出場しています。名市大には大学内部での部活動やサークルが多いので、活動に参加しやすく親しみやすいです。

部活動やサークルに関わることで、キャンパスの違う他の学部ともつながりができ、交友関係が広がります。どの部活動やサークルも経験者だけでなく初心者でも暖かく迎え入れてくれるので、ぜひ新しいことにチャレンジし、充実した学生生活を送ってください。



経済主体の行動原理を学ぼう！

市場経済の働きを理解した上で、国・自治体で政策立案を担う
人材や、企業で経営企画を担う人材を育成

経済学を通して社会を見直す

公共政策学科では経済学を学びます。経済学を学ぶことで、経済主体(消費者、企業、政府)の行動原理を科学的に解明し、社会のルールのあり方を議論する手立てを身につけることができます。また、経済主体の行動を考えて議論するというトレーニングは、よりよい組織、よりよい社会を築く一員となるための大切な基礎となります。身の回りのできごとや、政治経済さらには文化・芸能ニュースまでもが、経済学という1つの枠組みを通して鮮やかに捉え直すことができます。

公共政策学科は、こうした方法論としての経済学の習得を軸とし、国や地方自治体で政策立案を担える、あるいは企業で経営企画を担える人材を育成します。卒業生は、公務員、非営利団体組織(NPO)、金融や製造業・サービス業などの民間企業あるいは研究者など幅広い分野で活躍しています。



岡本 紗英 さん
公共政策学科3年
愛知県立一宮南高等学校 出身

この学科を選択した理由

公務員志望であったこと、高校時代に学習した政治経済に関心をもち、経済学について深く学びたいと思ったからです。

おすすめの授業

ミクロ経済学の授業では、経済学の基礎的な知識を習得し、市場経済がどのように機能しているかを学習します。家計や企業の行動といった身近な事例を取り上げて、経済学と結びつけて考えると面白さを感じました。また、毎回の授業での問題演習を通じて理解度を深めることができます。

◎学習の流れとカリキュラム

1
年次

学部共通科目で基礎を固め 大学での学びを理解する。

経済学の基礎(入門経済学)、経営学・会計学の基礎(入門経営学、入門会計学、入門ファイナンス)を学びます。

2
年次

基礎科目で専門分野の理論や 分析手法に関する基礎力を涵養する。

マクロ経済学やミクロ経済学で市場経済の機能をより深く学ぶとともに、公共経済学や財政学、金融論、国際経済学等の科目で、経済学からみた政府の行動、金融市場の働き、国際貿易や国際金融についての分析方法を幅広く学びます。

3・4
年次

応用展開科目で専門性を磨き、 演習(ゼミ)を通して 主体的かつ実践的な学習に取り組む。

財政政策、金融政策、産業政策、社会政策、国際経済政策などの経済事象・政策効果の分析を行う幅広い応用展開科目が用意されています。また、今問題となっている政策課題を取り上げ、既存の政策の評価や今後の政策展開の方向を考える実践的な科目として特別講義や特別セミナーなどがあります。さらに、学生が特定の政策課題に主体的に取り組む場としての少人数の演習(ゼミ)もあります。

Pick up Seminar

森田ゼミ Morita Seminar

中部経済学インターゼミに向けてグループで研究

こんな取り組み | 児童手当の効果—児童手当の制度目的からの考察—

ここがイチオシ! | 先生がすごい!
優しいうえにどの分野でもアドバイスをもらえる



山本陽ゼミ Yamamoto Seminar

広範囲に渡る社会保障について理解を深める

こんな取り組み | 貧困と子供の学力に相関はあるのか

ここがイチオシ! | 先生も含めたメンバーみんなそれぞれが素を出し合える、
居心地の良い中に切磋琢磨できる雰囲気



はばたく卒業生!



田村 悠梨亜 さん
東海旅客鉄道株式会社 勤務
2014年度卒

現在の業務内容

会社に必要な資材を一括で調達する仕事をしています。簡単にいうと会社で必要な物を安く、適切な時期に購入する、という仕事です。購入するのは様々なものですが、中でも、レールや枕木といった保線に関わるもの、乗務員用の制服、燃料等の調達を担当しています。メーカーとの価格交渉が主な仕事ですが、品質を確認するために、各メーカーの工場を視察するといったことも行っており、充実した毎日を送っています。

就職先の志望理由▶ 以前から、多くの人の役に立つ仕事がしたいという想いがあったため、鉄道の他には航空や商船の企業でも働きたいと思っていました。そこで出会ったのが今の会社です。最初は純粋な興味から会社の懇親会に参加したのがきっかけでしたが、そこで偶然にも今の部署で働く先輩社員の話を聞き、「こんな仕事もあるんだ」とわくわくしたのを覚えています。最後は面接時にお話した社員の方の人となりに共感したことが入社決め手でした。

学生時代に頑張ったこと

大学生生活で頑張ったことの1つがゼミ活動です。私の所属するゼミでは、チーム対抗で、プレゼン大会に向け、研究を行っていました。そこで感じたのは、チームでまとまることの難しさ。意見も性格も違うチームメイトと意見が対立することもよくありました。議論を重ね、プレゼン発表前日深夜まで活動が続くことも。苦労はしましたが、その分、まとまった時の喜びは大きく、またチームで一丸となって何かを作り上げる達成感を感じました。

名市大の良いところ

名市大では、自分がやりたいことをとことん追求出来る環境が揃っています。ゼミ活動として「非日常」をテーマにいろいろなホテルのスイートルームやテーマパークを回ったり、社会勉強として友人と一緒に海外を周遊したり、ゼミの教授に連れられて、社会人の交流会に参加したりと様々なことに挑戦しました。是非、皆さんも名市大で夢中になれるものを見つけてください。





経営戦略の歴史と最先端を学ぼう！

企業経営・組織を深く理解し、制度・歴史にも精通し、
起業家精神を備えた人材を育成

よりよい組織と経営のあり方を考える

マネジメントシステム学科では、様々な組織のマネジメントの仕組みについて、経営学および制度・歴史の2つの視点から学びます。経営学分野では、組織の編成、新事業創造、マーケティング戦略の構築に関するマネジメントの仕組みなどが学べるカリキュラムが用意されています。また、制度・歴史分野では、企業とそれを取り巻く地域社会、国家、国際社会の仕組みについて制度的・歴史的な視点から学べるカリキュラムとなっています。

急激な社会の変化の中で、これまでの経営や経済の理論を踏まえつつ、複雑化する組織を統合的に捉えることができる人材が求められています。このような要請に応えるために、企業の経営を深く理解し、制度・歴史にも精通した人材の育成を目指しています。



小島 聡太 さん
マネジメントシステム学科4年
愛知県立明和高等学校 出身

この学科を選択した理由

組織のマネジメントの仕組みについて、深く学ぶことが、マネジメントシステム学科を選択した最大の理由です。企業活動の1つ1つに意味を見出せるようになり、納得できるようになることで社会がもっと面白く見えるようになります。

おすすめの授業

私のおすすめする授業は鶴飼宏成教授の企業論です。事業を自分の手で1から組み立てる過程を授業の中で踏めることはかなり新鮮ですし、自分の頭と手をフルで動かしながら学ぶことで自然と基礎力と実践力が高められるのも企業論ならではの、企業の事業策定を是非体験してもらいたいです！

◎学習の流れとカリキュラム

1
年次

学部共通科目で基礎を固め 大学での学びを理解する。

経済学の基礎（入門経済学）、経営学・会計学の基礎（入門経営学、入門会計学、入門ファイナンス）を学びます。

2
年次

基礎科目で専門分野の理論や 分析手法に関する基礎力を涵養する。

経営学分野と制度・歴史分野に関する基礎科目を幅広く学びます。基礎科目は、経営学分野に経営組織、経営戦略、企業論、マーケティングなどがあり、制度・歴史分野に制度経済学、経済史、労働経済学などがあります。

3・4
年次

応用展開科目で専門性を磨き、 演習（ゼミ）を通して 主体的かつ実践的な学習に取り組む。

経営の組織、戦略や制度・歴史に関する高度な専門性を身につけるための幅広い応用展開科目が用意されています。また、特定の経営課題に実践的に取り組む場としての少人数の演習（ゼミ）、経営・経済現象の体験的な学習機会としての企業経営の事例分析、経営者が経営体験を語る産学連携講座などもあります。

Pick up Seminar

大神ゼミ Ogami Seminar

イノベーションマネジメントについての輪読グループワーク

こんな取り組み システム思考で組織の構造を読み解く
サッカーにおける2点差の危険性

ここがイチオシ！ 先生を含め全体で仲が良く
勉強をやるときはやるというけじめがある



山本 奈ゼミ Yamamoto Seminar

商品化を目指す大会に出場し商品開発のプロセスを実践的に学ぶ

こんな取り組み リレーションシップマーケティングを用いた地方鉄道再生
ガス業界におけるエリアマーケティングと地域ブランディング

ここがイチオシ！ 学生レベルを超えた商品開発を全国の学生と競いながら
疑似体験できる



はばたく卒業生！



山田 賢治 さん
野村不動産株式会社 勤務
2015年度卒

現在の業務内容

当社が開発した分譲マンション「プライド」のモデルルームで販売業務に従事しています。モデルルームでは、来訪者のご案内と、来訪者数を増やす集客活動の2本が柱になります。お客様をご案内する際は、ニーズを把握した上で、最適な住戸タイプや住宅ローンをご紹介できるよう努めています。また、集客活動では、どのエリアにどのような媒体を配布するかという戦略を考え、広告代理店と打ち合わせながら告知物を制作しています。

学生時代に頑張ったこと

塾講師のアルバイトとサッカースクールのコーチです。小中学生の性格や考え方はさまざまなので、誰にどのような教え方で臨むべきかを考えたり、みんなが進んで成長したくなるような仕掛けを企画したりと、運営面にも関わらせてもらい、とても充実していました。また、大学では一年間イギリスへ留学し、旅行や現地でのサッカーなど、その時しか経験できないことをやり尽くしました。

名市大の良いところ

名市大は良い意味で「自由」だと思います。「自由が一番難しい」とよく言われますが、その中で、向上心・野心を持っている生徒が多いと思います。私はボーリングサークルを発足させました。団体を立ち上げ、運営する中で困難なことは数多くありましたが良い経験になりました。新しいことに挑戦しやすい「自由さ」が名市大の良いところだと思います。

就職先の志望理由▶ 先輩社員との面談が大きかったです。当社のインターンシップを経験し、「まだまだ成長途中で伸びしろが無量大」という話には、自分自身の力で新しいビジネスや仕組みを生み出せるような可能性を感じることができました。また、熱心に話す様子からは仕事を心から楽しんでいることが強く伝わってきました。心から「こんな社会人になりたい」と思えたのが理由で現在も心から尊敬できる先輩と働いていると実感しています。

